

## 1 学校運営の中期目標

### 現状と課題

○リーダーを中心とした校内(学年・分掌・委員会)組織の強化に取り組んで3年目、一定の成果が見える。また、校内施設の整備による生徒の学習環境の改善も段階的にすすんでいる。そして、教職員の研修体制の一層の強化をすすめる、生徒のあらゆる課題に対し、全教職員が一枚岩となって取り組む体制を完成させる。

### 中期目標

#### 【視点 学力の向上】

- ① 平成27年度末の生徒アンケートにおける「授業がわかりやすい」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える生徒の割合を全体の85%以上にする。（カリキュラム改革関連）
- ② 平成27年度末の保護者アンケートにおける「授業が楽しくわかりやすい」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える生徒の割合を全体の50%以上にする。（カリキュラム改革関連）

#### 【視点 道徳心・社会性の育成】

- ① 平成27年度全国学力・学習状況調査における「自分によいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える生徒の割合を平成24年度より3%向上させる。（カリキュラム改革関連）
- ② 平成27年度末の生徒アンケートにおける「命や人権の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある」の項目について「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える生徒の割合を全体の90%以上にする。（カリキュラム改革関連）

#### 【視点 健康・体力の保持増進】

- ① 平成27年度末の生徒アンケートにおける「昼食をしっかりと摂る等、健康に気を付けている」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える生徒の割合を全体の70%以上にする。（カリキュラム改革関連）
- ② 平成27年度末の生徒アンケートにおける「運動することは楽しい」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える生徒の割合を全体の80%以上にする。（カリキュラム改革関連）

#### 【視点 教職員の資質・能力の向上】

- ① 平成27年度末の生徒アンケートにおける「授業で自分の考えをまとめたり、発表したりする」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える生徒の割合を全体の70%以上にする。（カリキュラム改革関連）
- ② 平成27年度末の生徒アンケートにおける「先生は教え方にいろいろ工夫をしている」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える生徒の割合を全体の80%以上にする。（カリキュラム改革関連）
- ③ 平成27年度末の生徒アンケートにおける「悩みや相談に親身になって応じてくれる先生がいる」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える生徒の割合を全体の70%以上にする。（マネジメント改革関連）

#### 【視点 学校組織の活性化】

- ① 平成27年度末の保護者アンケートにおける「学校は雰囲気良く、子どもたちは生き生きとしている」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える保護者の割合を全体の80%以上にする。（マネジメント改革関連）
- ② 平成27年度末の保護者アンケートにおける「学校は家庭への連絡や意思疎通を積極的にきめ細かく行っている」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える保護者の割合を全体の80%以上にする。（ガバナンス改革関連）

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 【視点 学力の向上】

- ① 平成 27 年度末の生徒アンケートにおける「授業がわかりやすい」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える生徒の割合を全体の 85%以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- ② 平成 27 年度末の保護者アンケートにおける「授業が楽しくわかりやすい」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える生徒の割合を全体の 50%以上にする。 (カリキュラム改革関連)

### 【視点 道徳心・社会性の育成】

- ① 平成 27 年度全国学力・学習状況調査における「自分によいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える生徒の割合を平成 24 年度より 3%向上させる。 (カリキュラム改革関連)
- ② 平成 27 年度末の生徒アンケートにおける「命や人権の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある」の項目について「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える生徒の割合を全体の 90%以上にする。 (カリキュラム改革関連)

### 【視点 健康・体力の保持増進】

- ① 平成 27 年度末の生徒アンケートにおける「昼食をしっかり摂る等、健康に気を付けている」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える生徒の割合を全体の 70%以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- ② 平成 27 年度末の生徒アンケートにおける「運動することは楽しい」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える生徒の割合を全体の 80%以上にする。 (カリキュラム改革関連)

### 【視点 教職員の資質・能力の向上】

- ① 平成 27 年度末の生徒アンケートにおける「授業で自分の考えをまとめたり、発表したりする」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える生徒の割合を全体の 70%以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- ② 平成 27 年度末の生徒アンケートにおける「先生は教え方にいろいろ工夫をしている」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える生徒の割合を全体の 80%以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- ③ 平成 27 年度末の生徒アンケートにおける「悩みや相談に親身になって応じてくれる先生がいる」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える生徒の割合を全体の 70%以上にする。 (マネジメント改革関連)

### 【視点 学校組織の活性化】

- ① 平成 27 年度末の保護者アンケートにおける「学校は雰囲気が良く、子どもたちは生き生きとしている」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える保護者の割合を全体の 80%以上にする。 (マネジメント改革関連)
- ② 平成 27 年度末の保護者アンケートにおける「学校は家庭への連絡や意思疎通を積極的にきめ細かく行っている」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える保護者の割合を全体の 80%以上にする。 (ガバナンス改革関連)

## 3 本年度の自己評価結果の総括

--

大阪市立旭陽中学校 平成27年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

【視点 学力の向上】

年度目標	達成状況
①平成27年度末の生徒アンケートにおける「授業がわかりやすい」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える生徒の割合を全体の85%以上にする。 （カリキュラム改革関連） ②平成27年度末の保護者アンケートにおける「授業が楽しくわかりやすい」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える生徒の割合を全体の50%以上にする。 （カリキュラム改革関連）	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【習熟度別授業】 国語・数学・英語において、計画的に習熟度別授業を実施し個に応じた指導を行う。（カリキュラム改革関連） 指標 年間の3分の1以上のTT授業、その3分の1以上の習熟度別授業をおこなう。	B
取組内容②【ICT機器の活用】 ICT機器を活用した学習形態を構築し、授業内容の充実（わかりやすい授業）を図る。（カリキュラム改革関連）（マネジメント改革関連） 指標 全教科においてICT機器を活用し、学習形態にあったICT機器の活用方法を考案する。	B
取組内容③【言語力の育成】 各教科で協同学習を導入した授業を実践し、言語活動の充実を図る。（グローバル改革関連）（マネジメント改革） 指標 協同学習を授業に導入し、読解・記述・コミュニケーションなど多様な言語活動を充実させる。	B
・ ・	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
①国語・数学・英語において、計画的に習熟度別授業を進めている。 ②すべての教科で、ICT機器を活用した授業を実践とその研究に努めている。 ③言語活動を重視した授業を実践するために、協同学習の理論と方法に関する研修を実施した。	
今後への改善点	
・協同学習を取り入れた授業を進めることで、学習内容の理解を深め、思考力を高める。 ・ICT機器を活用して資料の分析、意見交流や発表などをとり入れた授業を実践し、言語活動の充実を図る。	

大阪市立旭陽中学校 平成27年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

【視点 道徳心・社会性の育成】生活指導の重点

年度目標	達成状況
①平成27年度全国学力・学習状況調査における「自分によいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える生徒の割合を平成24年度より3%向上させる。 (カリキュラム改革関連)	
②平成27年度末の生徒アンケートにおける「命や人権の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある」の項目について「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える生徒の割合を全体の90%以上にする。 (カリキュラム改革関連)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な生活習慣の確立】 清掃活動を充実させ、言葉遣い、服装を正させる。(カリキュラム改革関連)	B
指標 部活や学期はじめに清掃を行い、服装や頭髪の確認をする。	
取組内容②【規範や価値観の育成】 全校朝礼・学年集会により、リーダーの育成を図る。(グローバル改革関連)	B
指標 集会の進行を委員長中心にする。	
取組内容③【長期欠席・不登校生への対応】 電話や家庭訪問を密に行う。課題を見つけ共有する。(学校サポート改革関連)	B
指標 生活指導部会で毎月、長期欠席・不登校生の情報を共有する。	
・ ・	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
①朝や放課後、たくさんの先生が正門で生徒に声掛けをしていることで、生徒との人間関係が築けているし、服装についても声掛けができています。
②生徒が集会に遅れないように、先生たちが促しているが、静かになるまで時間がかかったり、生徒同士の声掛けが少ない。
③担任が熱心に家庭訪問など継続指導している。
今後への改善点
・所属学年に関係なく生徒との人間関係を築くために声掛けを増やしていかなければならない。
・集会での声掛けが先生からだけでなく、生徒から自発的に出るように、各学年でリーダーの育成をしていかなければならない。
・長欠、不登校へのサポートを欠かさず、生徒情報の共有を継続していきたい。

大阪市立旭陽中学校 平成27年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

【視点 道徳心・社会性の育成】 人権教育の重点

年度目標	達成状況
① 成27年度全国学力・学習状況調査における「自分によいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える生徒の割合を平成24年度より3%向上させる。（カリキュラム改革関連）	
②平成27年度末の生徒アンケートにおける「命や人権の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある」の項目について「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える生徒の割合を全体の90%以上にする。（カリキュラム改革関連）	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【部落問題教育】 部落問題を正しく理解させ、生徒が自ら考えて行動し、一人一人が輝く集団の育成に努める。（カリキュラム改革関連）	
指標 教職員への研修を行い、年間各学年2時間以上の実践を行う。	
取組内容②【平和教育】 夏季休業中に平和登校日を実施し、平和について深く考えさせる。（カリキュラム改革関連）	A
指標 年に一度平和登校日を設け、平和への思いを深める。	
取組内容③【外国人教育】 多文化共生の視点から、他の文化も尊重する取り組みを進める。（グローバル改革関連）	
指標 各学年において外国人教育の授業を2時間以上実践する。	
取組内容④【特別支援教育】 生徒の実態把握に努め、個の特性に応じた支援の取り組みを進める。また、道徳の授業を通して、障がいの理解や自尊感情を養うように努める。（カリキュラム改革関連）	B
指標 情報共有のための研修会を年3回以上開く。各学年、2時間以上の取り組みを実践する。	
取組内容⑤【男女共生教育】 男女共生教育の推進体制の確立に努める。（グローバル改革関連）	
指標 各学年で男女共生教育の授業を2時間以上実践する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
①会の時や状況に応じて集まり、個の特性や実態把握に努めて情報の共有に努めている。	
②実践を終えた委員会は生徒の状況を確認し、状態の把握に努める。	
③今後実践する委員会や学年は、指導案や計画を練り、取り組んでいく。	
今後への改善点	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員が揃って話し合いをする時間の確保。</li> <li>・実践内容を学校全体で把握する。</li> <li>・生徒の現状に合った実践計画をつくる。</li> <li>・該当生徒の状況を交流できる機会を設ける。</li> </ul>	

大阪市立旭陽中学校 平成27年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

【視点 健康・体力の保持増進】保健管理・指導の重点

年度目標	達成状況
平成27年度末の生徒アンケートにおける「昼食をしっかり摂る等、健康に気を付けている」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える生徒の割合を全体の70%以上にする。 (カリキュラム改革関連)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【生活習慣の確立】 自らの生活習慣を考え、健康的な生活をおくれるようにする。(カリキュラム改革関連)	B
指標 保健だよりの発行、保健委員によるポスターで健康についての情報の発信、啓発食育に関する学習を年3回以上行う。	
取組内容②【校内美化に取り組む姿勢を養う】 校内を美しく保つことの意義を考え、美化に取り組む。(マネジメント改革関連)	B
指標 保健委員による月2回の清掃点検	
取組内容③【緊急対応】 緊急対応への意識を高める (マネジメント改革関連)	A
指標 AEDの設置、点検 全職員への研修を実施し、緊急対応に備える。	
・ ・	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
①保健だよりを定期的に発行し、保健委員によるポスターでの啓発活動を行っている。 一学期の懇談時に、各検診の治療状況を改めて知らせ、未治療の受診を勧めている。 食育に関して、食育通信を毎月発行している。また1年生で食育に関する講話を行った。	
②清掃点検を定期的に行っている。	
③職員を対象に救命講習を4月に行った。AEDの点検も行っている。	
今後への改善点	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 普段使用していないトイレについて、清掃の協力を部活動などにも求めていく必要がある。</li> <li>・ 来年度の全学年給食に向けて、教員の給食運搬・配膳当番や生徒の給食当番などの、効率のよい動きを検討する必要がある。</li> </ul>	

大阪市立旭陽中学校 平成27年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

【視点 健康・体力の保持増進】体育指導の重点

年度目標	達成状況
平成27年度末の生徒アンケートにおける「運動することは楽しい」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える生徒の割合を全体の80%以上にする。 (カリキュラム改革関連)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【体力向上への支援】 授業時に体力づくりのサーキットトレーニングを取り入れる。 各種目の基本的な動きを習得させる。(カリキュラム改革関連)	B
指標 平成27年度新体力テストの結果で、6種目以上で全国平均を上回る。 各種目での実技テスト点で判断。	
取組内容②【体育的活動の充実】 体育的行事を充実させる。(カリキュラム改革関連)	B
指標 体育的行事を年2回以上行う。	
取組内容③【体育科授業の充実】 授業で学んだことについてまとめたり、そこから新たな運動課題を見つけたり、調べ学習をしたり、自ら学ぶ態度を育成する。(カリキュラム改革関連)	B
指標 単元ごとにレポート課題を提出させる。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

- ①準備運動の取り組みについては充実している。今後も継続して指導していきたい。
- ②1年生では、6月に球技大会を行った。2,3年生は11月に予定している。
- ③単元ごとにまとめのプリントやレポート課題を出している。

今後への改善点

- ・単元ごとに運動の特性に合った準備運動を取り入れるなどの工夫も行っていきたい。
- ・捻挫や打撲などのけがが少し増えているので、単元に応じた準備運動をしっかりさせることや補助の仕方や生徒の能力に応じた運動課題などを今まで以上に検討し、安全面に留意した指導を行っていきたい。

大阪市立旭陽中学校 平成27年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

【視点 教職員の資質・能力の向上】研修の重点

年度目標	達成状況
①平成27年度末の生徒アンケートにおける「授業で自分の考えをまとめたり、発表したりする」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える生徒の割合を全体の70%以上にする。 （カリキュラム改革関連） ②平成27年度末の生徒アンケートにおける「先生は教え方にいろいろ工夫をしている」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える生徒の割合を全体の80%以上にする。 （カリキュラム改革関連） ③平成27年度末の生徒アンケートにおける「悩みや相談に親身になって応じてくれる先生がいる」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える生徒の割合を全体の70%以上にする。 （マネジメント改革関連）	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【各種研修】 生徒や学校の実態に即した課題の校内研修を実施する。（マネジメント改革関連） 指標 「人権教育」「生徒指導」「特別支援教育」「救命救急法」「協同学習」などの研修を計画的に実施する。	B
取組内容②【研究授業】 研究授業および研究協議会を通して、授業改善・指導力の向上を図る。（カリキュラム改革関連）（マネジメント改革関連） 指標 ICT 研究公開授業をすべての教科でおこなう。	
取組内容③【公開授業】 公開授業週間を設け、相互の授業参観を通して、授業改善・指導力の向上を図る。（マネジメント改革関連） 指標 公開授業週間中に2回以上の公開授業を全員がおこなう。	
・ ・	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
①各部、各委員会において計画的に校内研修を実施している。 ②ICTを活用した公開授業を10月に、研究授業を12月に全クラスで実施予定である。 ③公開授業週間は、11月に実施予定である。	
今後への改善点	
・引き続き、生徒や学校の実態に即した研修に努める。 ・教育相談週間や授業、行事など様々な取り組みの中で、生徒の実態を適正に把握するように努める。	



大阪市立旭陽中学校 平成27年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

【視点 学校組織の活性化】

年度目標	達成状況
①平成27年度末の保護者アンケートにおける「学校は雰囲気良く、子どもたちは生き生きとしている」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える保護者の割合を全体の80%以上にする。 (マネジメント改革関連) ②平成27年度末の保護者アンケートにおける「学校は家庭への連絡や意思疎通を積極的にきめ細かく行っている」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える保護者の割合を全体の80%以上にする。 (ガバナンス改革関連)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【学力向上】 習熟度別少人数授業等の指導工夫・改善に積極的に取り組む。 先進的取り組み校として、ICT機器を活用した協同学習に取り組み、授業方法の工夫改善に取り組む ( マネジメント改革関連 ) 指標 保護者・生徒の学習に関わる評価の向上	
取組内容②【学習環境整備】 学内の施設・整備に努め、生徒の学習環境の改善に取り組む。 学校元気アップ地域本部事業を中心に、地域の支援を積極的に取り入れる。 ( ガバナンス改革関連 ) 指標 元気アップ地域事業ボランティアとの交流を増やす。	
取組内容③【小中連携】 校区小学校との課題共有により、学力向上や人権教育等の指導法の工夫・改善に積極的に取り組む。 ( マネジメント改革関連 ) 指標 小中連携の取り組みを増やす。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
①習熟度別少人数授業等やT.Tに取り組み、基礎学力の定着を図った。 ②10月31日にICT公開授業に向けて、わかりやすい授業研究、協同学習に取り組んだ。 ③芝生化事業に取り組み、校内環境整備を進めた。 ④アクティブ・ラーニングをテーマとした小中合同研修会を実施し、小中連携して学力向上への指導法の工夫・改善に連携して取り組んだ。	
今後への改善点	
・学力向上により効果的な習熟度別少人数等授業に取り組む必要がある。 ・課題をさらに明確にして小中連携して学力向上に取り組む必要がある。	